

会 議 録 (1)

| | |
|------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和4年度 第3回 入間市廃棄物減量等推進審議会 |
| 開 催 日 時 | 令和4年10月28日(金) 午前10時30分 開会・午後0時10分 閉会 |
| 開 催 場 所 | 入間市産業文化センター 2階 第2集会室 |
| 議 長 氏 名 | 入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸 |
| 出席委員(者)氏名 | 有賀健高 上田圭吾 岡崎洋志 栗山三千代 河野真夢 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 竹内國雄 永井健一 三木敏正 村野裕子 森洋子 |
| 欠席委員(者)氏名 | 小野吉雄 坂本蓉 |
| 説明者の職氏名 | エコ・クリーン政策課(事務局)主幹 松落義夫 総合クリーンセンター 主幹 水村昌秋 |
| 会 議 次 第 (公 開) | 1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) プラスチックごみ一括回収の実施について ① プラスチックごみ一括回収実施(案) ② 想定される懸案事項と対応策 ③ 周知方法・実施スケジュール(案) (2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて ① 家庭ごみ収集回数の見直し(案) ② 現在のごみ収集日程の例 ③ パターン1 可燃ごみ、不燃ごみをそれぞれ月2回減らした 場合の収集日程の例(案) ④ パターン2 可燃ごみ、不燃ごみをそれぞれ月2回減らし、 収集日を月2回減らし、収集日を週5日とした場合の 例(案) 4 事務連絡 5 閉会 |
| 非 公 開 理 由 | |
| 傍 聴 者 数 | 1名 |
| 配 布 資 料 | 資料 ・【資料1】入間市廃棄物減量等推進審議会 資料 ・【資料2】ビニール・プラスチック資源に追加する主な品目(一部) ・【資料3】ごみ収集車の車両火災について |

| | | |
|----------|---|------------------------------|
| 事務局職員職氏名 | 環境経済部長 環境経済部次長 環境経済部エコ・クリーン政策課長 環境経済部副参事（脱炭素・資源循環担当） エコ・クリーン政策課 主幹 松落義夫、主事 関根千紘 総合クリーンセンター 所長 小林正和、主幹 水村昌秋 | 原嶋裕子 横田一洋 竹廣由美 中村 慧 |
| 会議録作成方法 | 要点筆記 | |

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○議題

(1) プラスチックごみ一括回収の実施について

- ① プラスチックごみ一括回収実施 (案)
- ② 想定される懸案事項と対応策
- ③ 周知方法・実施スケジュール (案)

(2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ① 家庭ごみ収集回数の見直し (案)
- ② 現在のごみ収集日程の例
- ③ パターン1 可燃ごみ、不燃ごみをそれぞれ月2回減らした場合の収集日程の例 (案)
- ④ パターン2 可燃ごみ、不燃ごみをそれぞれ月2回減らした場合の収集日程の例 (案)

資料1を用いて事務局より説明を行なった。

○その他

- ・ごみ収集車の車両火災について

資料3を用いて説明

- ・今後のスケジュールについて、11月11日(金)第4回を開催予定。

以上

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--------------------|---|
| <p>司会 小林会長</p> | <p>1 開 会 (配布資料の確認を含む。) 2 会長あいさつ 3 議題 (1) プラスチックごみ一括回収の実施について ① プラスチックごみ一括回収実施 (案) ② 想定される懸案事項と対応策 ③ 周知方法・実施スケジュール (案)</p> |
| <p>小林会長</p> | <p>資料1を用いて事務局より説明を行なった。 ただいま事務局の説明がございました。 これにつきまして、ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願 いします。</p> |
| <p>三木委員</p> | <p>硬質プラスチックを出すときには、細かく砕かなくてはならないのか。細 か砕くのは、どの程度ですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今現在につきましては、不燃ごみで出している製品プラスチッ クは、30センチ以下にしていただければ大丈夫です。 今後一括回収が始まりましたら、50センチということで、国から示され ております。</p> |
| <p>三木委員</p> | <p>現状のプラスチックの日は、集積所がいっぱいになっています。それが、 硬質プラスチックも出すと、さらにいっぱいになる不安もある。細かくすれ ば小さくて済みますが、50センチだとかさが増えさらにいっぱいになるこ とが心配されるが大丈夫でしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>組成調査の結果、硬質プラスチックは全体の13.7%であるので、大量に増 えるということは想定しておりませんので、大丈夫と考えております。</p> |
| <p>三木委員</p> | <p>告知をすべての集積所にとありますが、大きさ50センチという表現を使 って告知をしますか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>告知に当たりまして市民の皆様にはわかりやすいようイラスト等を使って周 知します。</p> |
| <p>上田委員</p> | <p>プラスチックごみの一括回収は、ごみの軽減、リサイクルで賛成ではある が、実施していくには、継続していかなければならない。現在8,000万円か かる費用が4,000万円増の1億2,000万円になるが、具体的にどのような経 費なのか、また、交付税はいくらで、いつまであるのでしょうか。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 事務局 | <p>業者に運びまして、そちらの中間処理業者で、圧縮梱包していただくという費用です。それから、最終的にリサイクルするための、委託料ということで、こちらは容器包装リサイクル協会という団体にお支払いする金額となります。交付税については、「標準単価×トン数×1/2」で、具体的な標準単価の金額など詳細は、今の段階で申し上げられません。わかり次第報告します。また、いつまでかという期間についても確認でき次第報告いたします。</p> |
| 栗山委員 | <p>実生活で感じますが、スーパーで買った食品で、トレイに入っているものが多くあります。そのトレイについて、今まではごみの日に出していたが、ここ最近に関しては、スーパーで回収しているところが多いため、回収ボックスに入れるなりして、スーパーに持っていくことが多く、普通のビニール類の日には出さないようにしています。ラップで包装されているものや、プラスチックのふたで覆われているものは、スーパーで回収しているところはないため、スーパーで回収してもらい、家庭ごみに出さないようにしてはどうかと思います。できれば、大型店舗等に、そういうものも回収していただけるように進めれば、プラスチックごみの量が減らせるので、集積所がいっぱいになるということは、なくなるのではと思います。</p> |
| 小林会長 | <p>ご意見として承ります。</p> |
| 近藤委員 | <p>硬質プラスチックは50センチと説明があったが、現在では、可燃、不燃は30センチとしているので、混乱があるのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>国からの指示もあり、50センチとしています。混乱のないよう市民には、周知をしていきます。</p> |
| 岡崎委員 | <p>プラスチックを回収した後は、硬質と軟質に分けて処理するのか、一緒に処理をするのか。一緒に処理をするのであれば、13.7%の増量に対して、費用が1.5倍に増えるのはなぜでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>一括回収後には、一緒に処理します。費用については、新たに硬質プラスチックの処理費用が発生するためです。</p> |
| 岡崎委員 | <p>硬質プラスチックの方が処理単価が高いということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>単価が高いか安いかは現時点では、不明です。</p> |
| 三木委員 | <p>外国人に伝わるかという問に対し、英語版以外にありますか。</p> |
| 事務局 | <p>アプリは英語版のみですが、チラシ等で個別に対応します。</p> |
| 三木委員 | <p>では、例えば、ベトナム人が多いようなところでは、それに対応してもら</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| | えるということでしょうか。 |
| 事務局 | 現在の分け出し表は10か国語に対応しています。国際交流協会に協力をお願いし、対応したいと考えています。 |
| 齋藤委員 | 一括回収では、プラの表示のないものも回収することとなるが、片方は表示があり、もう一方は表示がありません。一緒に回収するとなれば、新たな表示をするのでしょうか、または、一緒になるので表示もしないとなるのでしょうか。分別する方としてはどちらかに統一してもらいたいです。国の政策なので、国で考えていただくことなのかもしれません。 |
| 小林会長 | 事務局で環境省等にも確認いただきたいです。 |
| 上田委員 | 現状30センチとしているのであれば、国の指示は50センチ以下となっているため、30センチの継続でよろしいのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 改めて協議をさせていただきます。 |
| 小林会長 | 他に意見が無ければ、プラスチックごみの一括回収は来年の4月からの実施ということで、お願いしたいと思います。 それでは、次の議題へ移ります。 続きまして、家庭ごみ収集回数の見直しについて、事務局より説明願います。 |
| 事務局 | (2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて ① 家庭ごみ収集回数の見直し (案) ② 現在のごみ収集日程の例 ③ パターン1 可燃ごみ、不燃ごみをそれぞれ月2回減らした場合の収集日程の例 (案) ④ パターン2 可燃ごみ、不燃ごみを月2回減らし、収集日を週5回とした場合の例 (案) 資料1を用いて説明 |
| 小林会長 | ただいま事務局から説明ありましたが、ご意見のある方はよろしく願います。 |
| 三木委員 | パターン2で、水曜日に可燃ごみの収集があった後、4日間可燃ごみの収集がないとなると、月曜日に可燃ごみの量が相当増え、収集時間も遅くなるのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | ここには例として載せさせていただいていますので、可燃ごみが週2回となった場合は、地区ごとに日程を検討して決めます。 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 村野委員 | P 8の目的で、収集効率によるコストの削減とありますが、どのくらいの削減になるのでしょうか。また、市民のごみ減量に対する意識の変容とありますが、意識の変容のみで、実際のごみの減量はないということでしょうか。近隣市と収集日程を合わせることで、どうして必要なのでしょうか。 |
| 事務局 | コストの削減については、運搬費用の削減は若干あるかと思いますが、具体的な金額は未定です。 |
| 永井副会長 | 経営者的な観点から申し上げますと、回数が減ったからといってコストは減らないと思います。なぜなら、コストを減らすためには車両や人員を減らさなければならないからであって、おそらく、ごみが減らなければ削減は難しいと思われます。ごみを出す市民・事業者がごみを減らす努力をして、少しずつごみが減量された結果、収集事業者の車両や人員が減り、コストが下がると思われます。 |
| 事務局 | 目的にごみの減量が無かった点については、目的に追加します。 |
| 村野委員 | 入間市の可燃ごみ回収が週3回であることはとてもメリットが大きいので、それが無くなるくらいのメリットがあるのかを聞きたかった。例えば、ごみ袋の有料化などは他の市町村でもやっているようですがいかがですか。 |
| 事務局 | 今後、有料化についても検討していかなければならないと考えます。 |
| 栗山委員 | 土曜日を無くすということは、焼却炉も止めるのでしょうか。また、可燃ごみをいきなり2回に減らすという事よりも、今は雑がみに出せるものが可燃ごみに多く出されていると思われるため、先に雑がみが可燃ごみに出されないような工夫をする必要があると考えます。回数を2回減らす前に、説明会等で雑がみについて説明していただき、可燃ごみを減らすようにしていけば、可燃ごみを2回にしてもごみ集積所が溢れることはないと思います。 |
| 小林会長 | ごみ減量の啓蒙活動を市にお願いするということでもよろしいでしょうか。 |
| 竹内委員 | 市内で飲食業をやっているのも、普段からごみは直接クリーンセンターに持ち込んでいます。可燃ごみが週2回となった場合、直接持って行く人が多くなり、さらにクリーンセンターへの渋滞が増えるのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 土曜日は、場合により1時間くらいかかってしまうケースがあります。 |
| 小林会長 | どのようなごみが持ち込まれていますか。 |
| 事務局 | 普段集積所へ出せる家庭ごみを持ち込む人もいますが、土曜日は特に、粗大ごみを持ち込む方が多いと思われます。 |
| 近藤委員 | コスト削減について、収集業者をやっているが、単価は平成22年度から |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 事務局 | <p>変わっていません。実質コストダウンは出来ていると考えますが、人件費は上がっています。収集は車と人で行うものであって、コストよりも働き手がいないのが現状です。募集をしても集まりません。祭日も土曜日も収集となるので、回数の見直しは、コストの削減よりも働き手の環境改善に繋がります。これは、収集業者全てにいえることであると思われます。夏の炎天下、台風、大雪の日でも収集しなければなりません。人材確保の点も考えていただきたいです。</p> <p>建設業界でも週休2日を実施しています。P8で4つの目的を上げていますが、皆さんの議論を伺い、まずはごみの減量、それと資源化率の向上、そして働き方改革という視点で、働き手の改善を入れたいと思います。目的については、修正させていただきます。</p> |
| 上田委員 | <p>コスト削減については、どういった点で削減できるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>運搬費や委託料が削減できると考えていました。</p> |
| 森委員 | <p>可燃ごみと不燃ごみを隔週で実施すると間違えやすいと思われるので、違うもので隔週にした方が分かりやすいと思います。</p> |
| 森委員 | <p>居住地域では、可燃、不燃、プラスチックはごみ袋が有料化になっています。また、ごみは個別回収により自宅前で回収されます。可燃ごみは週2回、不燃ごみは月1回、プラスチックは週1回となっています。食品トレイなどは、ほとんどスーパーに出すようにしています。雑がみを出していない家庭はほとんどないと思われます。ごみ袋の有料化によってリサイクル率が上がることが期待できるが、個別回収がないと難しいと思われます。有料化の検討も必要と考えます。</p> |
| 河野委員 | <p>パターン2はビン・缶・ペットボトルの収集日が増えていますが、こんなに必要でしょうか。他市から入間市へ転入した際、ごみ袋が有料でないことに驚きました。なぜごみ袋を有料にしないのか疑問です。有料ごみ袋は破れにくいため、カラスの被害なども防げます。</p> |
| 小林会長 | <p>ごみ収集のパターンについては、今後も検討する必要があります。</p> |
| 岡崎委員 | <p>目的の「収集効率のコストの削減」ですが、収集運搬車両の稼働台数が減ることに伴い、排出ガスが減ります。それによりCO₂も削減されるので、環境負荷の軽減という意味での「収集効率とコストの削減」というような、地球温暖化防止の観点では考慮されているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>CO₂の削減についても大きな目的になると思います。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--------------------------------------|--|
| 栗山委員 | 野菜ジュースのアルミ付きパックなどの回収については、最近スーパーでも回収している店舗がいくつかあります。通常は可燃ごみとして捨てられます。市でも回収しているスーパーを紹介するなど、可燃ごみを減らすよう考えてはどうでしょうか。販売している店舗において、回収の協力をしてもらいたいです。 |
| 小林会長 | 皆さんからの貴重なご意見、ありがとうございました。収集回数の見直しについては、今後も当審議会で検討してまいります。それでは、議事については以上となります。 |
| 司会 | 続きまして、次第4の事務連絡といたしまして、ごみ収集車の火災について事務局より報告があります。 |
| 事務局 | 資料3を用いて、ごみ収集車の火災について報告。 |
| 司会 | <p>次回の審議会の連絡です。第4回廃棄物減量等推進審議会は、令和4年11月11日金曜日午前10時30分から、市役所B棟5階全員協議会室にて行います。</p> <p>次第5 閉会を永井副会長</p> |
| 永井副会長 | <p>今日の議題の中で、プラスチックごみ一括回収については、皆さんからご了解をいただいたということで、今回は答申案について審議します。</p> <p>家庭ごみ収集回数の見直しについては、今後も当審議会にてご審議していただき、結果を出せるよう、様々なご意見をお願いいたします。</p> <p>以上で終了となります。ありがとうございました。</p> |
| 議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 | |
| 令和 4 年 11 月 9 日 | |
| 議 長 の 署 名 | 小林昌幸 |
| 議長が指名した者の署名 | 永井健一 |